

## 算数

### 解答

- ① (1) 4444      (2) 6000      (3)  $17 \cdot 3$       (4) 56      (5) 72      (6) 11
- ② (1) 98      (2) 300      (3) 55      (4) 15      (5) 80      (6)  $8 \cdot 3 \cdot 2$
- ③ (1)  $A \cdot 4$       (2) 9
- ④ (1) 2700      (2) 50
- ⑤ (1) 172      (2) 91
- ⑥ (1) 40      (2) 102

### 解説

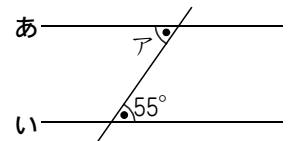
① (5)  $\square \div 6 + 8 = 20$   
 $\square \div 6 = 20 - 8 = 12$   
 $\square = 12 \times 6 = 72$

(6)  $(5 \times \square - 19) \div 2 = 18$   
 $5 \times \square - 19 = 18 \times 2 = 36$   
 $5 \times \square = 36 + 19 = 55$   
 $\square = 55 \div 5 = 11$

② (1)  $180 - 82 = 98$ (度)

(2)  $1800 \div 6 = 300$ (g)

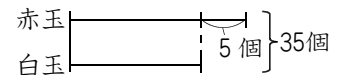
(3) 右の図で、●の角は平行線のさつ角で同じ大きさです。よって、アの角の大きさは55度です。



(4) 赤玉と白玉の個数の関係を線分図にすると右のようになります。

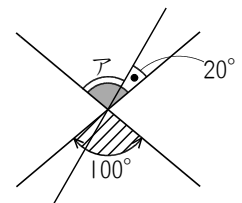
$35 - 5 = 30$ (個) ……白玉の個数  $\times 2$

$30 \div 2 = 15$ (個) ……白玉の個数



(5) 右の図で、かげをつけた角としゃ線をつけた角は対頂角で同じ大きさですから、かげをつけた角の大きさは100度です。よって、アと●の角を合わせた角の大きさが100度ですから、アの角の大きさは、

$100 - 20 = 80$ (度)



(6) 一の位の計算から、

$$\underline{1} - \boxed{イ} = 8 \quad \rightarrow \boxed{イ} = 3$$

十の位の計算から、

$$\underline{1}\boxed{ア} - \underline{1} - 9 = 8 \quad \rightarrow 1\boxed{ア} = 8 + 9 + 1 = 18 \quad \rightarrow \boxed{ア} = 8$$

百の位の計算から、

$$5 - \underline{1} - 2 = 2 \quad \rightarrow \boxed{ウ} = 2$$

とわかりますから、筆算は右のようになります。

$$\begin{array}{r} 5 \boxed{ア} 1 \\ - 29 \boxed{イ} \\ \hline \boxed{ウ} 8 8 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5 8 1 \\ - 29 3 \\ \hline 2 8 8 \end{array}$$

③ (1) 3人の年齢の関係を線分図にすると、右のようになります。

線分図より、Aさんの方が、

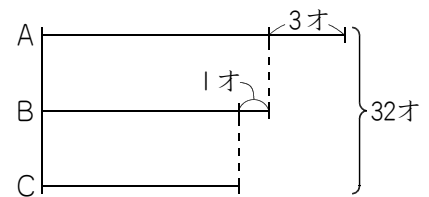
$$3 + 1 = 4 \text{ (オ)}$$

年上であることがわかります。

(2) 3人の年齢をすべてCさんにそろえると、

$$32 - 4 - 1 = 27 \text{ (オ)} \quad \dots\dots \text{Cさんの年齢} \times 3$$

$$27 \div 3 = 9 \text{ (オ)} \quad \dots\dots \text{Cさんの年齢}$$



④ (1)  $150 \times 18 = 2700$  (円)

(2)  $5000 - 2700 = 2300$  (円)  $\dots\dots$  クッキーを買った後の残りのお金

$$2300 \div 250 = 9 \text{ あまり } 50$$

より、プリンは9個買えて、50円残ります。

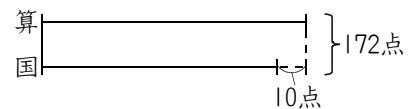
⑤ (1)  $86 \times 2 = 172$  (点)

(2) 2つのテストの点数の関係を線分図にすると右のようになります。

$$172 + 10 = 182 \text{ (点)} \quad \dots\dots \text{算数の点数} \times 2$$

$$182 \div 2 = 91 \text{ (点)} \quad \dots\dots \text{算数の点数}$$

※ 合計 = 平均  $\times$  個数



⑥ (1) 右の図で、●の角と○の角は平行線の同位角で同じ大きさですから○の角の大きさは140度です。また、○の角とアを合わせた角の大きさは180度ですから、アの角の大きさは、

$$180 - 140 = 40 \text{ (度)}$$

(2) アと▲の角は平行線の同位角で同じ大きさですから、▲の角の大きさは40度です。また、■の角は平行線の同位角で同じ大きさですから62度です。よって、イの角の大きさは、

$$40 + 62 = 102 \text{ (度)}$$

